

"お客さまとは一生のお付き合い" 創業50年の歴史が培う先進の家づくり

松川建設株式会社 代表取締役社長 **松川 美敏** さん

「お客さまの声にはトコトン耳を傾けます。その結果、鳥観図や平面図を5～6回製作することも珍しくはありません」と、施主の思いを第一に考えるのは松川建設株式会社代表取締役社長の松川美敏さん。一級建築士として、自ら家づくりの第一線に立つ。

建設業を営む父親の姿を見ながら育った松川さん。木材や大工道具が常に身近にあり、小学生の頃にはノコギリや金槌を使って、飛行機などを作って遊んでいた。それを見て、父親がノコギリ、金槌、カンナを買い与えたという。それがきっかけで、物作りへの興味が一層膨らんでいった。

高校卒業後は当然のように大学の建築学科へ進学。設計事務所に就職してからは何事も勉強と思い、給料や休暇は二の次にして、一生懸命働いた。その間、設計から現場監理まで、図面の段階から建物の完成・引き渡しまでをひと通り経験。9年間勤めた後、父親のたつての願いで、家業の松川建設に入社した。

設計事務所に在籍していた頃は、木造よりも鉄筋コンクリート・鉄骨造などのビルを多く手掛けていたことから、木造を一から勉強。父親が建てた築50年の家がいまだに現役として務めを果たしているのを見るたびに、選んだ道が間違いでなかったことを確信し、誇りを持ったという。同時に、長年にわたり快適に暮らせる家を作るには、自分の考えを押し付けるのではなく、施主のさまざまな要望に応えられる提案力や、専門部署の担当者との調整力を身に着けることが必要不可欠であることも実感した。

そんな松川さんを中心に、積極的に展開しているのがネオ空調工法の「エアプレス」。「単なる高气密・高断熱工法ではありません。家全体をきれいな空気が循環することで、一年中快適に過ごせるうえ、家自体の耐久性も高めます」と自信を持つ。

引き渡しが済めば、それで終わりというわけではない。松川建設の施工工



リアは安芸郡海田町だけで全体の80%、安芸区を加えると90%を占める。そのほとんどが施主からの紹介によるもの。当然、地元に着目した経営姿勢が求められる。その柱の一つが、こまめな迅速なアフターフォロー。大規模な地震や台風で屋根瓦が壊れたときには瓦職人をいち早く確保し、速やかに修理することで、施主の信頼に込めている。

「お客さまとは一生のお付き合いです」と笑顔で話す松川さん。整理収納アドバイザー1級の資格を持つ妻の晶子さんが、主婦の目線でサポートする。

Mitoshi Matsukawa

1961年、広島県安芸郡海田町生まれ。1984年に福山大学建築学科を卒業した後、広島市内の(株)村田相互設計事務所に入社。1993年、同社を退職し、松川建設(株)に入社。2001年には代表取締役社長に就任、現在に至る。母親、妻、子ども2人の5人暮らし。既存の顧客を中心に、木造注文住宅をはじめとする新築およびリフォームなど幅広く手掛けている。

松川建設株式会社

広島県安芸郡海田町蟹原2丁目1-16
TEL082-822-3753 FAX082-822-3788

● <http://www.5d.biglobe.ne.jp/~macyan>